

アウトドア活動等を通じた町の活性化を 目的とした協定を締結



6月26日にアウトドア用品の企画・製造・販売を行う株式会社モンベルと包括連携協定を締結しました。

この協定は、小鹿野町の豊かな自然を活かしたアウトドア活動等の促進を通じて、地域の活性化を図ることを目的としたもので、連携・協力事項は以下の7つです。

- (1)自然体験の促進による環境保全意識の醸成に関する
こと
- (2)子どもたちの生き抜いていく力の育成に関する
こと
- (3)自然体験の促進による健康増進に関する
こと
- (4)防災意識と災害対応力の向上に関する
こと
- (5)地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による
地域経済の活性化に関する
こと
- (6)農林水産業の活性化に関する
こと
- (7)高齢者、障がい者等の自然体験参加の促進に
関する
こと

問合せ●小鹿野庁舎・総合政策課 ☎75-1238

(株)近畿日本ツーリスト首都圏から「地域おこし企業人」 として社員が出向しています

6月27日に国内外旅行の企画や運営などを行う株式会社近畿日本ツーリスト首都圏と出向協定を締結いたしました。

この協定は、総務省が推進している「地域おこし企業人交流プログラム」を活用し、三大都市圏民間企業からの社員を一定期間受け入れ、経営感覚や視点、スピード感を取り入れ、町の観光振興を図りながら交流人口の拡大を実現することを目的としたものです。

7月1日から最長3年間、地域活性化アドバイザーとして町へ社員を出向していただくことになりました。



地域おこし企業人
地域活性化アドバイザー
石塚 浩哉さん



問合せ●小鹿野庁舎・総合政策課 ☎75-1238

8月は「人権尊重社会をめざす県民運動強調月間」です

いじめや体罰、パートナーへの暴力、高齢者への虐待、障害者への差別など人権問題が発生しています。また、インターネットを悪用したプライバシーの侵害など新たな人権問題も増加しています。

「人権尊重社会をめざす県民運動」はすべての県民がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会を実現するため、県・市町村はもちろん県民総ぐるみで取り組む運動です。

～人権啓発フェスティバル～ 「ヒューマンフェスタ2018in久喜」

- 日時●8月25日(土)10:00～15:30
 場所●久喜総合文化会館(久喜市)
 内容●①生稲晃子さん(女優・タレント)による人権講演会
 ②花咲徳栄高等学校吹奏楽部による演奏
 ③子ども人権メッセージ ほか
 その他●入場無料、先着順、事前申込不要
 問合せ●埼玉県人権推進課 ☎048-830-2255

国保町立小鹿野中央病院職員募集

問合せ●国保町立小鹿野中央病院事務局 ☎75-2332

募集職種	採用予定人数	受験資格
看護師	5人程度	・看護師免許を有する人、又は平成30年度中に実施される国家試験を受験し同免許取得見込みの人 日本国籍を有し、地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない人
診療放射線技師	1人	・診療放射線技師免許を有する人、又は平成30年度中に実施される国家試験を受験し同免許取得見込みの人

試験日及び内容●9月1日(土)／小論文及び面接

試験場所●国保町立小鹿野中央病院

採用予定日●平成31年4月1日

受付期間及び時間●8月1日(水)～23日(木)

8:30～17:15(土・日・祝日は除く)

※郵送の場合は、8月23日(木)までに必着

提出書類●履歴書、卒業見込み証明書、成績証明書

※有資格者は履歴書及び免許証の写し

●臨時職員

募集職種●通所リハビリ職員(パート) 1人

業務内容●リフト車の運転

試験日及び内容●8月23日(木)／面接

試験場所●国保町立小鹿野中央病院

採用予定日●平成30年9月3日

受付期間及び時間●8月1日(水)～15日(水)

8:30～17:15(土・日・祝日は除く)

※郵送の場合は、8月15日(水)までに必着

提出書類●履歴書、運転免許証の写し



内田の
気になるつぶやき
小鹿野中央病院長 内田 望

生活習慣病について④ 高血圧

暑い毎日が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は高血圧の原因と、実際の値についてみていきましょう。

まずは高血圧の原因です。実は現在の日本人の高血圧は、原因がわからない本態性高血圧が90%を占めており、それに肥満や食塩の過剰摂取、遺伝などの要因も組み合わさって血圧が高くなると言われています。一方で血圧の上がる原因がわかっている二次性高血圧は、腎臓自体の問題や、腎臓・副腎・甲状腺から出されるホルモンの異常など様々です。二次性高血圧は、本態性高血圧とくらべると、若い人に多くみられます。

以下に血圧の値を示します。

治療による目標血圧値(成人血圧、単位はmmHg)

	診察室血圧	家庭血圧
若年者、中年者、 前期高齢者(～74歳)	140 かつ 90 未満	135 かつ 85 未満
後期高齢者(75歳以上)	150 かつ 90 未満 (様子を見ながら下げられれば)	145 かつ 85 未満
糖尿病患者、タンパク尿の ある慢性腎臓病患者	140 かつ 90 未満	135 かつ 85 未満
	130 かつ 80 未満	125 かつ 75 未満

なぜ血圧を下げる必要があるのか、それは世界的な研究でも明らかになっています。ある研究では、血圧をしっかりと下げたグループの方がそうでないグループに比べ、死亡や心筋梗塞、心不全、脳卒中の危険性を約4分の1に減らすことが出来たと発表されています。

しかし、敏感になりすぎないでください。時々「先生、今朝の血圧が148/90だったんです。大丈夫でしょうか」と相談されます。その気持ちはわかります。でも一時的な血圧に左右されることはありません。私だって、ちょっとイラッとしたときは血圧も上がっているでしょう。しかし、いつでも血圧が高いのを放置しておくのはよろしくありません。気にならない程度に血圧を測る癖をつけるといいかもしれませんね。いつ測っても前述の表の値以上であれば医療機関に相談してください。血圧が上がってしまうようなストレスはためないように、笑顔で過ごしましょうね。